

「江戸より続く技術とオリジナルのデザインによる『竺仙テキスタイル』の発信」

株式会社竺仙(中央区)

- 天保13年(1842年)の創業以来、染めの技術を磨き、こだわりの生地とオリジナルのデザインによる商品づくりを行っている。
- 創業以来培ってきた技術とテキスタイルを活用して現代の日常にも使える新しい商品アイテムを構築し、着物のみに留まらない「竺仙テキスタイル」として国内外へ発信する。



「『節句文化』の再定義とその魅力の国内外への発信」

株式会社松崎人形(足立区)

- 江戸の町民文化の中で栄えた「江戸木目込人形」と「江戸節句人形」の技術を継承し、「ひな人形」「五月人形」に加え、ライフスタイル変化に合わせた新しい人形の製造・販売を行っている。
- これまで培った人形製造の技術を継承・進化させつつ、現代に合う「新しい節句」の形を提案し、その魅力を発信していく。



「江戸東京の大衆生活に根差した文化 注染文化の啓発と普及」

有限会社丸久商店(中央区)

- 創業以来、「新江戸染」の屋号で注染などの技法を用いて製作した製品の企画、販売を手掛けている。
- 染色作家や織職人、染工場等と協働することで、注染ひいては染色、和装文化の新たな可能性を拡大させ、その認知度を向上させる。



「森を創る太鼓:東京の森林資源と工芸技術を活かした、豊かな循環型社会の提案」
株式会社宮本卯之助商店(台東区)

- 1861年に太鼓店として創業し、祭礼用品の製造販売、和楽器の修理・復元等を手掛けるほか、近年では和太鼓スクールを展開し、国内外へその魅力を伝えている。
- 東京の森林資源を生かして和楽器の商品開発を行い、その過程を広く発信することで、環境とものづくり双方への関心を高め、豊かな循環型社会のあり方を東京から発信する。



「『江戸木目金(もくめがね)』の技による 唯一無二の結婚指輪を海外へ展開」
株式会社杢目金屋(渋谷区)

- 刀装具の制作技術として生まれ、江戸時代の鐔工(つばこう)により完成された金属工芸「木目金」を応用したジュエリーを製造。
- 木目金専門店として伝統的な木目金模様の研究、活用に取り組み、ユーザー参加型の革新的な商品開発を通して技術を発展的に継承していく。工房のショールーム化や他業種との協働により「Made in Tokyo」のジュエリーブランドとして海外に発信していく。

